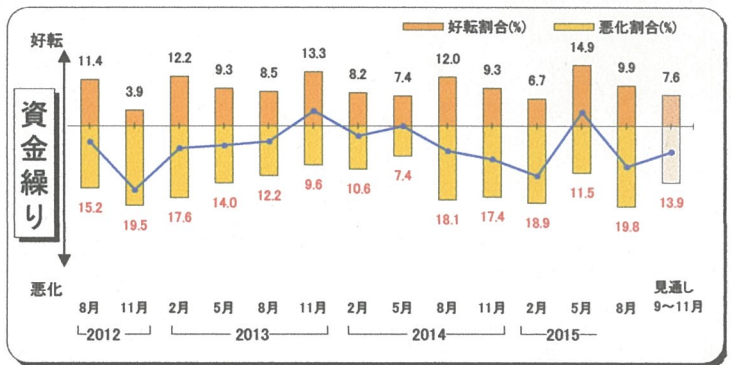
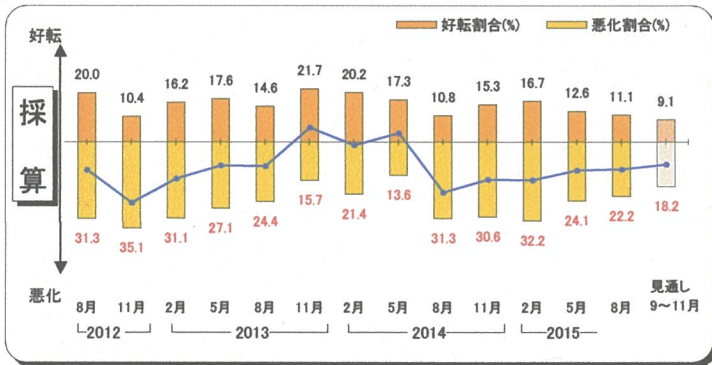
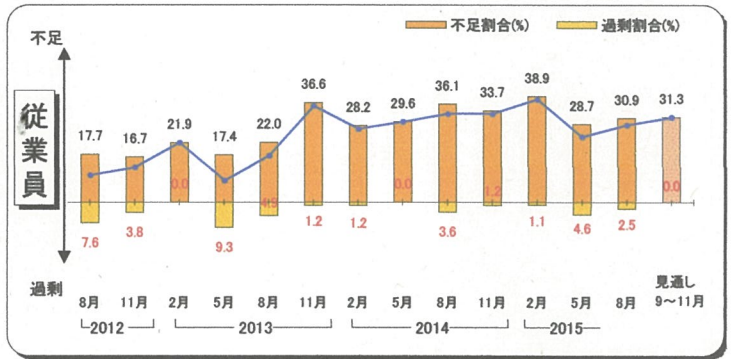
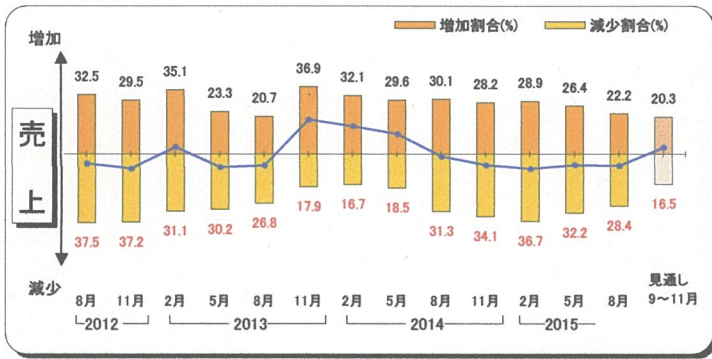
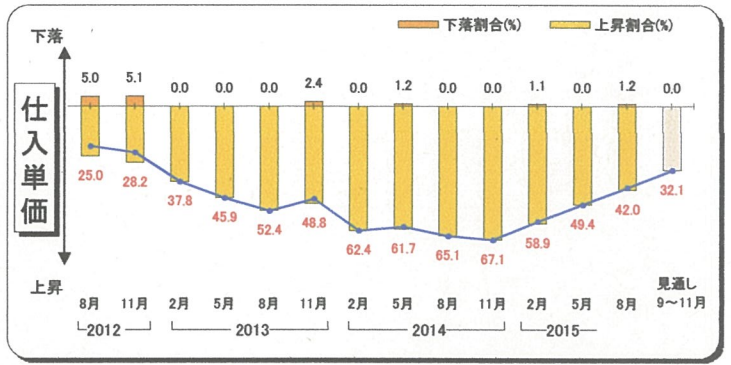
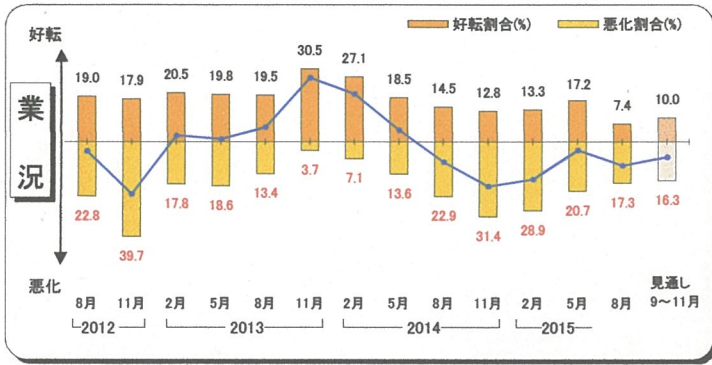


【建設業】①



【建設業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

土木建築工事業	世代交代がスムーズにできなかった。若手を採用したが、育つまでに思ったより時間がかかる。
土木建築工事業	工事受注と請負額の減少。
土木建築工事業	人員不足がどうなるか。仕事があっても人が不足です。若人がなりたがらない。単価が上がれば、若人が入るのだろうか。
土木建築工事業	マイナンバー制度については、まだ準備を始めていません。大変難しい業況になりつつあります。
土木建築工事業	マイナンバー制度への対応は、東京の本社で行っており、支店には詳しい情報がおろてきていないため、現状の課題がわからない。
造園工事業	自分の言動や行動によって、会社やお客様に何をもちたかという意識を持って行動している人と、何も考えず、時間を過ごす人との差が社員、職人に出てきている。外す選択肢もあるが、時間をかけても改善させたいと思っている。 景気の浮き沈みは多少あるが、意識づけを忘れず、会社を発展させ、うちで仕事をしていて良かったと思われるようにしたい。
とび工事業	工事の発注率が悪く、見通しが立たない状況が続いている。今後は発注率の増加とともに各社均等の発注ができるようになってもらいたい。
電気工事業	幕張メッセ、東京ビックサイト等オリンピックに向けての改修工事等が始まりますと、展示会の電気工事の受注がどうしても少なくなり、売上減少は当然のことと思います。展示会の電気工事が主な仕事の当社としては、とても心配です。
電気工事業	先行きの好転は確実性が薄く、やや希望的観測。
管工事業	マイナンバーの説明会に行く予定です。
管工事業	マイナンバーは企業個人の負担を増加させ、個人情報収集や国民の動向等のプライベートまで先行管理できるシステムとなります。最大の目的は税収増。 先行きの仕事量が増加するにつれ、人手が不足し、資材の値上げが企業活動の大きな不安要素となる。 安定的に仕事が発生するのではなく、時期的要因もあるが、4～5年後のことを考えると、大きな投資は考えもの。
管工事業	管工事業は職人不足。社会保険の未加入問題等施行原価は上昇。受注単価はやや上昇するものの採算は依然降下傾向。
冷暖房設備工事業	猛暑で緊急工事に追われた。先行き見通しはわからない。
給排水・衛生設備工事業	顧客数は安定しているものの、生計上の不安から必須の住環境整備資金が確保されていません。資材や施工の条件を下げて、お客様の要望にぎりぎり応えています。介護や医療等の生活圧迫が、私たちの営業に影響しているように思えます。